



【企業情報】

本社所在地：北海道札幌市北区

事業内容：家具等製造物流小売

従業員数：12,668名
(2019年2月末日現在)

【背景】

同社では「住まいの豊かさを世界の人々に提供する。」というロマンを企業理念に掲げ、32期連続増収増益を実現してきた。2019年2月期は売上高6,081億円、国内外で576もの店舗を展開している。こうしたなか、第2期30年ビジョンを掲げ、2022年に売上高1兆円、1,000店舗、2032年には売上高3兆円、3,000店舗を目指している。これは同社にとって非常に高い目標である。これまでの業界慣行や過去の成功体験にとらわれず、現状否定を繰り返し、成長を遂げる必要がある。加えて、グローバル化や、デジタルトランスフォーメーションといった新しい時代に対応してかなければならない。そのためには、様々な知識や経験をもった人材が不可欠であり、そういった人材が自律的に成長できる環境を整える必要がある。

【取り組み】

同社は社員一人ひとりが持つ「好奇心」や特性を活かしたスペシャリストへの道のりを大切にする手法に注目し、2019年2月、正社員約5,500人を対象に新たな人材マネジメントプラットフォームの構築を開始した。まず、スマートフォンなどで視聴可能な3分程度の動画で経営知識、ビジネススキルを学べる「グロービス学び放題」を導入。このプログラムによって社員が時間や場所を問わず、好奇心に従って自発的に知識を身に付けられるようにした。

さらに、受講履歴はクラウド型人材管理プラットフォーム「workday」に共有され、業務経験や評価、資格情報などと共に管理される。これにより、①人材情報の一元管理と見える化、②人事システムと連動した学習プラットフォームの整備、③配転教育の精緻化が可能となる。

この人材マネジメントプラットフォームは、やりたい仕事や希望する部署が明確な社員に対して、カリキュラムを組み、計画的に教育を行うことができる点が大きなメリットである。また学習内容と学習進捗のデータなどの履歴をもとに、同社の多岐にわたる事業に対し、最適な人材登用も可能となる。社員の自律性を重んじ、継続的な学習支援を行うことで、様々な知識を有する人材の育成を図り、同社の目指す非連続的な成長の礎となる「多数精鋭」の組織を実現する。

【今後の展望】

同社では従来、部門を越えた配置転換を重ねることで、社員の成長を促している。今回、構築する新たな人材マネジメントプラットフォームはこういった企業文化と非常に相性が良い。「多数精鋭」組織の実現に向けた、社員一人ひとりの学習支援から最適な人材登用までがシームレスに行われる人事システム構築がなされ、同社の成長の原動力となることが期待される。

人材マネジメントプラットフォーム

適切な人材登用

